

アリを食べてみる

環境教育・ESD・子どもの発達を問いなおす

参加費
無料
事前申込
不要

10月27日（金）

15時－18時

神戸大学大学院 人間発達環境学研究所
A棟 1階 Dルーム集合



アリ
アレルギーの
かたは
見学のみでOK

子どもへの環境教育が重視されています。しかし「森の散策」や「昆虫の観察」といったありきたりの体験から、環境教育が十分に深まることは少ないでしょう。**アリを食べる**という衝撃的な「超人類的自然体験」を通し、環境教育・ESD・子どもの発達を根っこから考えてみませんか？

●第1部：15時から16時（実習・試食）●

学内を探索し、アリの生態を調査すると同時に、アリを食べてみます。なお、今回は特別に「**美味アリ**」を学外から入荷する予定です

●第2部：16時30分から18時（講義・ディスカッション）●

参加者全員：アリを食べた衝撃を語り合う

清野末恵子（行動生態学）：「食アリから構想される未来の環境教育」

赤木和重（発達心理学）：「アリを食べることと子どもの発達」

●問い合わせ先●

清野末恵子（行動生態学・ESD学）
(miekofk@diamond.kobe-u.ac.jp)

赤木和重（発達心理学）
(akagi@pearl.kobe-u.ac.jp)

※万が一、参加者多数の場合、
(美味)アリを食べることができない場合が
ございます。ご了承ください。